

SX-3740リリースノート

バージョン	リリース日	■:機能追加 □:仕様変更 ●:不具合修正他	内容
6.9.60	2016年10月06日	●	脆弱性対応 CVE-2016-2108、CVE-2016-2109、CVE-2016-4953、CVE-2016-4954、CVE-2016-4955 CVE-2016-4956、CVE-2016-4957、CVE-2011-4862、Apache Etag情報開示の脆弱性
6.9.50	2015年12月07日	□	SSLアクセラレーション処理で使用する暗号スイートからデフォルトでRC4を使用しないよう仕様変更 下記オペレーションによりRC4を有効にすることが出来ます。 adm(config)# compatibility enable-rc4
		●	Layer7負荷分散設定時、クライアントからの遅延ACKと受信ウィンドウがゼロである状態が同時に発生した場合、TCP遅延ACKが発生して通信遅延が発生する不具合を修正
		●	本装置のリアルタイム情報を複数のブラウザで長時間表示させていると、プロセスが正常に終了しない状況となり管理IPアドレスにアクセス出来なくなる不具合を修正 本現象が発生してもサービス通信に影響を与えることはありません
		●	no vrrp vridコマンドに対して数値パラメータを付与してもvridの削除が正しく行われない不具合を修正
6.9.40	2015年06月19日	●	下記条件を全て満たしている場合に通信できなくなる不具合を修正 ・仮想サーバにクッキー挿入の設定が行われている ・クライアントに対してクッキーが発行済みである ・同仮想サーバにHTTPリダイレクションの設定が行われている ・上記リダイレクト先のドメイン名をワイルドカード(*)で指定している ・クライアントがCookieヘッダより後ろにHostヘッダを付けてリクエストを送信
6.9.30	2015年06月12日	●	VRRPタイマ動作が誤動作し、予期せずMasterに遷移してしまう不具合を修正 発生条件 ・dateコマンドを使用し、システム時計を手動で3.6秒を超える修正をした場合 ・ntpサーバとの同期によりシステム時計が、step調整で3.6秒を超える修正が行われた場合
6.9.20	2015年04月23日	●	FREAK (CVE-2015-0204) 脆弱性対応 本機器のWeb管理画面にHTTPSアクセスした際に、EXP系の暗号スイートを使用できないように修正 ※サービス通信でSSLアクセラレーション機能を使用している場合は、「弱い暗号化の拒否」(CLIコマンド:keyfail)設定を行うことで対応することができます。 デフォルトの設定は「弱い暗号化の拒否」を行いません。
		●	cookie又はcookie挿入によるセッション維持設定があり、バインドされている複数の実サーバのポート番号が異なっている場合にHTTP負荷分散の通信が停止してしまう不具合を修正 (Ver6.8.70以降該当)
6.9.10	2015年02月17日	●	冗長構成でリンク切断時、リンク接続の復旧手順でMasterになる機器が予測できなくなる不具合を修正 プリエンプト無効(no preempt)設定を行っていても切り替えが発生してしまう場合がある
		●	冗長構成時にMaster状態への遷移後のBackup状態への遷移がVRRP送信インターバルの1.5倍以内の時間に発生した場合にL2フォワード停止(no backup-l2forward)設定が機能しなくなり、フォワーディンググループが発生してしまう不具合を修正 (Ver6.9.0のみ該当)
		●	ロケーションヘッダ書き換え後のリクエストが同一コネクション内で行われた場合に後続のHTTPリクエストを破棄してしまう不具合を修正 (Ver6.8.60以降該当)
		●	短時間に大量のログが出力されるとログ文字列が壊れてしまう不具合を修正
6.9.0	2014年10月30日	●	冗長でループ構成あり、かつ「no vrrp backup-l2forward」設定がある条件で、フェイルオーバーした時、またはMaster機を再起動した時に一時的にループが発生する不具合を修正
6.8.90	2014年10月20日	□	脆弱性への対応のためデフォルトでSSL3.0を使用しないよう仕様変更 下記オペレーションによりSSL3.0を有効にすることが出来ます。 adm(config)# compatibility enable-ssl3
6.8.80	2014年07月16日	●	クライアント証明書挿入不具合修正
		●	コネクションカウンタ不具合修正
6.8.70	2014年05月15日	■	SSL基板不具合時のフェイルオーバーに対応
		●	OpenSSL脆弱性対応 (CVE-2014-0224)
6.8.60	2014年04月11日	●	リバースNAT設定時の不具合
		●	SSL設定+ロケーションヘッダ書き換え時の不具合
6.8.50	2014年01月28日	●	NTP脆弱性対応 (JNVU#96176042)
		□	シーケンス番号異常時の動作を選択可能に仕様変更
6.8.40	2014年01月22日	●	メール転送設定の不具合修正
		●	クライアント認証時の不具合修正
		●	クライアント証明書インポート時の不具合修正
		●	WebUIの設定確認画面の表示が乱れる不具合修正
		●	CLIにてconfigモードに入れなくなる不具合修正

6. 8. 30	2013年10月18日	<input type="checkbox"/>	フェイルスルー状態変化時のログ出力追加
		<input type="checkbox"/>	SHA-2ハッシュアルゴリズムで署名されたSSLサーバ証明書に対応
		●	L7設定時にパケットがIPフラグメント化される不具合修正 TCPセグメントに分割されず、IPフラグメントに分割されていた
		●	Web設定画面からcookie挿入を設定した場合の動作不具合修正
		●	Webパスワードで「/」「.」「-」の3文字が使用できない不具合の修正
		●	SSL設定とDSR設定が同時に設定できてしまう不具合修正
		●	transparent設定とDSR設定が同時に設定できてしまう不具合修正 その他、細かな不具合の修正及び仕様の変更
6. 8. 20	2013年08月28日	●	プロセス死活監視機能の不具合修正 プロセスの停止を誤検知した場合、同じプロセスを二重起動させてしまう
		●	SNMP不具合修正 一回のGETコマンドで複数OID値を取得すると、SNMPプロセスが停止してしまう
6. 8. 10	2013年07月12日	<input type="checkbox"/>	ダウンロードファイル拡張子の変更
6. 8. 0	2013年05月13日	<input type="checkbox"/>	新会社対応 会社名、ロゴなどの修正
		●	WEB設定保存ボタンの状態反映不具合修正 STANDBY状態で設定変更を行ない保存を実施しても、保存ボタンが黒く（設定変更後、保存されている状態を示す）表示されない
		●	HTTPヘッダ処理不具合修正 HTTPヘッダのロケーションヘッダ長が大きい場合に異常となる
6. 7. 20	2013年02月19日	●	クライアント証明書使用時のSSL認証不具合修正 サーバ証明書2048ビットを使用しクライアント認証でのSSLアクセラレートを行った場合、SSLハンドシェイクに失敗する
		●	VLAN設定登録削除時の冗長構成不具合修正 VLANを登録、削除を行うと以降の登録が正しく行われない
		●	SSL機能無効設定時の不具合修正 SSL機能を一度有効にすると、無効にしても内部状態が残ったままになる
6. 7. 10	2012年12月10日	<input type="checkbox"/>	Cookie InsertモードでHTTPリクエストに対して常にCookie挿入を行う動作と従来動作を切り換える機能追加
		<input type="checkbox"/>	同時コネクション数の最大値変更 L4 250,000→1,000,000 L7 50,000→200,000 ※SSLを除く
		<input type="checkbox"/>	スティッキーテーブルの拡張 Cookieスティッキー 500,000→1,000,000 IPスティッキー 500,000→1,000,000
		<input type="checkbox"/>	設定保存ボタンの表示場所変更
		<input type="checkbox"/>	VRRP動作仕様変更
		<input type="checkbox"/>	write momoryコマンド仕様改善 configモードでマスター側でwrite momoryした場合バックアップ側でも保存される仕様に改善
		●	SNMP拡張MIBの不具合
		●	セッションタイムアウト無期限設定の不具合修正 セッションタイムアウトに0を設定した場合は無期限保持することが仕様だが、すぐに切断してしまう。
		●	タグVLAN設定変更時の不具合修正 リンク集約時にタグVLAN設定を解除した場合、物理ポート側で以前の設定が残ってしまい、異常動作となる。
		●	仮想サーバ設定変更時の不具合修正 SSL設定がある仮想サーバの設定を削除し、再度同じ設定を行うと異常動作となる
6. 6. 20	2012年09月21日	<input type="checkbox"/>	Cookie 挿入方法の仕様変更
6. 6. 10	2012年07月23日	●	冗長構成時、機器を2台同時に起動すると2台ともマスターとなる場合がある
		●	ヘルスチェック不具合修正 TCPヘルスチェックで無応答の端末が多数存在すると、他の端末へのヘルスチェックが失敗してしまう
6. 6. 0	2012年05月25日	■	DSR機能追加
		●	Web設定画面の表示が一部崩れる不具合
		<input type="checkbox"/>	設定ファイルインポート時に機種判別の可否を追加
		<input type="checkbox"/>	syslog表示変更
		<input type="checkbox"/>	LEAST_LOADED時の負荷分散機能変更
		●	脆弱性対応 (CVE-2011-3192)
		●	リバースNAT設定の不具合修正 フェイルスルーモードで、リバースNAT設定ができない
		●	FTP負荷分散不具合修正 FTP仮想サーバをウェルノウンポート(21)以外の値で定義しアクティブモードで接続をすると、データコネクションが確立できない
		●	コネクションカウンタ不具合修正 仮想サーバポート番号を49152以上に設定してバランシングすると、現在コネクション数が異常な値となってしまう コネクション数が42億になると最大接続数(50,000)を超えてしまうため、接続ができなくなる
		●	冗長構成不具合修正 仮想MACアドレスの初期値が、管理MACアドレスではなく、VRRP仮想MACアドレスに設定されていた不具合
●	VRRP不具合修正 ポート設定がtaggedであった場合、ポートコストが1に設定されない不具合		
<input type="checkbox"/>	ルーティング仕様変更 自ネットワークと同一セグメントにある、別のネットワーク機器にパケットをルーティングできるように仕様変更		
6. 5. 10	2012年01月25日	<input type="checkbox"/>	URLライト時の区切り文字仕様追加 区切り文字に?も使用できるように仕様を追加
6. 5. 0	2011年11月30日	-	新規リリース

※リリース日は出荷日と異なりますので、製品のversion確認をお願い致します。